

「ホトリア広場」と「濠プロジェクト」



キーワード

エコロジカルネットワークへの貢献
希少種の系統保全と復元

フィールド

社有地及び皇居外苑濠



活動目的

三菱地所グループが所有・管理する大手町周辺エリアの都市空間を活用して、皇居外苑濠に生息する生きものの保全や復元を行い、かつてこの地に広がっていた湿地生態系を復元し、周辺の水辺をつなぐネットワーク拠点とする。

活動内容

- 皇居及び皇居外苑濠に隣接する三菱地所本社所在の大手町パークビル敷地内に約2,800㎡の緑地「ホトリア広場」を整備。水辺や在来種を中心とした植栽を配置し、エリアのエコロジカルネットワークに貢献を寄与
- 環境省他NPO、研究機関等との協力により、皇居外苑濠由来の水草11種（うち約半数は外苑濠より消失し、同濠内では生育していない種）の保全を開始。お濠で採取した泥を用いた埋土種子実験を実施し、失われてしまった水草（ミゾハコベ）の復元も実現。
- 三菱地所グループ社員やエリアのワーカーに参加を呼びかけ、皇居外苑濠で生物・泥の採取、及び、ホトリア広場へのいきものの導入活動を実施する等啓発活動も実施。

ポイント

- ◎東京都心の生物多様性の宝庫である皇居及び皇居外苑周辺のエコロジカルネットワークに貢献。
- ◎エリアの生態系保全、希少種の系統保全及び復元。

活動効果、今後の展開 等

- 東京都内では皇居周辺部にのみ生息するベニイトトンボなど6種のトンボの飛来等、保全の効果を確認。
- お濠で採取した泥を用いた埋土種子実験では、東京都23区内で絶滅した「ミゾハコベ」を含む5種の水草の復元。

三菱地所株式会社

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200731_horiPJ.pdf

<https://www.mec.co.jp/j/sustainability/activities/environment/biodiversity/>